

感染症定期報告感染症別文献一覧表(再生医療等製品 2021/10/1 ~ 2022/3/31)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	ウイルス感染	PHE. <a href="https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1028407/emerging-infections-summary-september-2021.pdf">https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1028407/emerging-infections-summary-september-2021.pdf</a>	新規および稀な病原体、疾患:2021年9月9日、メディアは、ロシアのロストフ地域で複数の人々の発熱の原因となった、Manychウイルスと呼ばれる新規ウイルスの発見を報告した。報告によると、このウイルスはダニを介して感染し、2014年に中国で確認されたJingmen ウイルスに似ている。
2	細菌感染	第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会第68回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会(2021/10/27-2021/10/29)075	慢性心不全、大動脈弁狭窄症の既往のある酪農家の70歳男性が、呼吸困難、左手関節痛を主訴に他院を受診、慢性心不全増悪の診断で当院へ紹介搬送された。来院後の診察で左手関節の腫脹、熱感があり血液検査上CRPの上昇を認めた。手関節の関節穿刺では膿汁が引け、化膿性手関節炎、慢性心不全増悪の診断で入院、血液培養を採取してVCM、CTRXの投与を開始した。翌日に血液培養2セット、関節液から院内で同定不能のグラム陰性桿菌が検出された。感受性試験ではCTRXに感受性があり、VCMを中止しCTRXのみ継続した。入院後に腰痛の訴えがあり、腰椎MRIで第4、5腰椎に椎体椎間板炎、両側腸腰筋膿瘍を疑う所見を認めた。第10病目に腸腰筋膿瘍のドレナージ術を実施しCRPは順調に低下、第28病目に腰椎の後方固定術を実施した。感受性結果から抗菌薬の内服以降を目的にABPCへ変更したが薬疹の出現があり、LVFXへ変更した。起炎菌であるグラム陰性桿菌は質量分析でも同定がつかず、16SrRNA遺伝子解析で <i>Mannheimia varigena</i> と同定された。 <i>M.varigena</i> はウシに呼吸器感染を引き起こす <i>M.haemolytica</i> から1999年に16SrRNA遺伝子解析により分離同定され、仔牛の肺炎、流産、髄膜炎、敗血症などの報告がある。患者は仔牛業に従事する酪農家で仔牛からの感染が示唆され、また <i>M. varigena</i> のヒトへの病原性を持つ可能性が示唆される。本症例は <i>M.varigena</i> のヒトへの感染の世界で初めての報告である。
3	真菌感染	日本化学療法学会雑誌. 69(2021)284	日本において、 <i>Blastobotrys mokoensis</i> によるヒト感染例が初めて報告された。8歳の女児で、卵黄のう腫瘍治療後、徐々に増悪する全身の紅斑、発熱、腹痛及び下痢で医療機関を受診した。ショック及び多臓器不全を認め、マクロファージ活性化症候群の診断で入院となった。血漿交換、持続血液濾過透析及びステロイド治療に加えて、非典型HUS疑いでエクリズマブが投与されたが改善は乏しかった。第22病日の血液培養2セットから酵母様真菌が検出され、菌糸、分節型分生子及び出芽型分生子の混在を認めることから <i>Trichosporon</i> 属を疑い、第24病日からポリコナゾールが投与された。持続真菌血症を認めカテーテル関連血流感染症が疑われたが、第32病日に死亡退院となった。後日ITS領域シーケンス解析により <i>Blastobotrys mokoensis</i> と同定された。
4	鳥インフルエンザ	HPSホームページ. <a href="https://www.hps.scot.nhs.uk/publications/hps-weekly-report/volume-55/issue-24/h10n3-avian-influenza-in-jiangsu-province-china/">https://www.hps.scot.nhs.uk/publications/hps-weekly-report/volume-55/issue-24/h10n3-avian-influenza-in-jiangsu-province-china/</a>	中国において、鳥インフルエンザA(H10N3)ウイルスによる初のヒト感染症例が認められた。
5	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20210716.8519755	2021年2月、ロシアは鳥インフルエンザH5N8による初めてのヒト感染症を報告し、5月にCDCは、人獣共通感染症の鳥インフルエンザA/H5N8をIRATリストに追加した。

ID	感染症(PT)	出典	概要
6	鳥インフルエンザ	WHOホームページ. <a href="https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/human-infection-with-avian-influenza-a(h10n3)-china">https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/human-infection-with-avian-influenza-a(h10n3)-china</a>	中国において、鳥インフルエンザA(H10N3)ウイルスによる初のヒト感染症例が認められた。